

第五十九回
帝國議會
貴族院

鑛業法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案

製鐵業獎勵法中改正法律案

昭和六年三月十七日(火曜日)午前九時五十九分開會

○委員長(伯爵二荒芳徳君) ソレデハ是カラ特別委員會ヲ開會イタシマス

○男爵周布兼道君 先日御願ヒ致シテ置キマシタ參考ノ表ヲ只今實ハ受取りマシタノ

デ、マダユックリ見ル閑ガナクテ、能クマダ目ヲ通ス譯ニ參リマセヌガ、一二政府委員

ニ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、鑛產稅ニ對スル市町村附加稅ニ對スル調ト云フ

表デゴザイマスガ、是ハ昭和四年ノ鑛產稅ヲ基礎トシテ新舊ノ比較ヲ御出シニナツタ

ノデゴザイマスカ

○政府委員(福田康雄君) 左様デゴザイマス、昭和四年ノ鑛產稅額ヲ基礎トシテ居リ

マス

○男爵周布兼道君 新ト申シマスト少シ語弊ガゴザイマスガ、今度ノ改正ノ率ニ依リ

マシテ計算ヲナサツタノデゴザイマスカ

○政府委員(勝正憲君) サウデゴザイマス

○男爵周布兼道君 ソレカラ表ニ數字ガ何

モナイ所ガゴザイマス、是ハ鑛產稅ノナイ

所デゴザイマスカ、御調べガ御間ニ合ヒニナラナカツタノデスカ

○政府委員(福田康雄君) 左様デゴザイマス、鑛產稅ノナイ所デゴザイマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) チョット私カラ政府委員ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、此改正法中ノ千分ノ五ト云フ數ハ根據ハドウ云

フ風ニシテ出シテ御居デニナリマスカ

○政府委員(勝正憲君) 一應御説明申上ゲマセウ、此鑛產稅ガ百分ノ一ト云フコトニ

ナツテ居リマス現行法ガソレハドウ云フ數字カラ參リマシタカ、ドウ云フ根據デ百分

ノ一ニナツタカト申シマスト、是ハ可ナリ沿革モ古イコトデゴザイマスガ、惟フニ是ハ

大體ニ此位ト云フ達觀デ行ツタモノト思フ

ノデアリマス、ソコデ今デハ百分ノ一ニナツテ居ル、即チ千分ノ十デゴザイマス、ソレ

ヲ今度半分ニ減ラシマスルト千分ノ五ニナル、即チ半額ヲ市町村ニ委讓スル、千分ノ

五ニナル、サウスルト府縣ガ其鑛產稅ノ附加稅ヲ一割取ツテ居リマシタ、詰リ百分ノ十

取ツテ居ツタ、即チ千分ノ百取ツテ居ツタ、元

ガ半分ニナリマスカラ同一ノ金額ヲ府縣ヲ

シテ取ラシメヤウトシマスニハ千分ノ二百

ニシマセスト、元ノ金ガ取レナイ、ソレダ

カラ元ガ半分ニナツテ其率ヲ倍ニシテ府縣

ダケハ改正前モ改正後モ同一ノ鑛產稅ノ附

加稅ガ取レルヤウニシテアル、ソレカラ市

町村ハ丁度國デ減ラシタ元ノ千分ノ五ダケ

ヲ市町村ニ持ツテ行ク、サウシマスルト千分

ノ七十デスカニスレバ丁度宜イコトニナリ

マス、サウスレバ國デ取ツテ居ツタ分ヲソック

リ府縣ヲ飛バシテシマツテ市町村ニ持ツテ

行ツテシマフ、金デ申シマスト云フト百圓ノ

鑛產稅ガ今現行法デ取レテ居ル、ソレガ五

十圓ニナリマス、百圓ノ鑛產稅ノアツタモノ

ノガ今日デハ元ガ五十圓ニナル、今度ハ府

縣ノ方デハ其千分ノ二百取リマスカラ十圓

取レバ宜イ、市町村ハ今迄十圓取ツテ居ツタ、

今迄十圓取ツテ居ツタノヲ百圓ヲ減ラシテ五

十圓ヲ持ツテ行クカラ六十圓ハ市町村ニ取

レル、六十圓ト稱スルノガ即チ千分ノ千二

百ニナリマス、モウ一遍申シマスト、御覽

願ヒマスト分リマスガ、百圓國稅ヲ取ツテ

居ツテ府縣デ十圓、市町村デ十圓取ラシテ

居ツタモノガ、之ヲ五十圓減ジマシテ府縣ハ

十圓ニシマシタ今度ハ市町村ハ六十圓ニシ

マシタ、斯ウ云フコトニナツテ結局納稅者

ノ負擔ハ一文モ變ラナイ、府縣ノ收入モ一

厘モ變ラナイ、國ノ方デ減ツタダケガ市町村

ニソックリ行クト行フヤウナ案ニナツテ居リ

マシテ、是ハ前内閣ガ兩稅委讓ヲ致シマシ

タ際ニ政府ガ提案シタ、即チ鑛產稅半額委

讓、其案ヲソックリ是ハ取ツテアル

○濱口儀兵衛君 是ハ金銀鉛ハ鑛產稅ガナ

イノデスカ、サウスルト今度今迄鑛產稅ガ

アツタ町村ガ大變都合ガ宜クナル譯デスカ、

鑛產稅ガナカツタモノハ別ニ變ラヌ譯デス

カ、其地方モ困ルコトニ於テハ同様デナイ

カ、ソレガドンナ風ニナリマスカ

○政府委員(勝正憲君) 金銀鉛鐵ト云フノ

ハ日本ノ鑛業ノ獎勵ノ爲ニ全部稅ヲ取ツテ

居リマセヌ、ソレデアリマスカラ今迄鑛產

稅ヲ取ツテ居リマセヌカラ今後委讓シマシ

テモ一文モ行キマセヌガ、勿論サウ云フ際

ニモ若干ノ工夫モ居リマス、從業員モ有リ

マスカラ其市町村ハ若干困リマセウガ、是

ハ別ニ大シタ大キナ山ト云フ譯デナイノデ

アリマスカラ金銀ニ於キマシテハ是ハ銅ノ

副產物トシテ銅產ト一緒ニ出テ來ルノデ、

金銀ダケノ專門ノモノハ寧ロ少イト申ス位

デアルカラ銅ノ方ノ鑛產稅ノ關係デ大抵目

第四部第十四類 鑛業法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號 昭和六年三月十七日

一

のハ達スルカト思ヒマス

○濱口儀兵衛君 サウシマスト、アノ石炭ノヤウナ所ハ大變ニ總産額ニ對シテ人數ガ大勢使テ居ルノデスガ、銅山アタリハダト少イカラ其邊ハ石炭ト事情ガ違フノデハナйкаト思フガ、矢張り現在ハ銅山デモ就學兒童ヤ何カノ多イ爲ニ困テ居ルコトガ石炭ト大シテ違テ居ナイヤウナ事情ナノデスカ

○政府委員(勝正憲君) 私ノ聞キ及ビマシタ所デハ銅山ノ方ハ此懸ヘハ餘リナイ、是ハ殆ド鑛山ノ方ニ收容シテシマッテ居ルト云フヤウナ狀況デゴザイマシテ、大體鑛産稅委讓ト云フ問題ハ石炭鑛ノ所在地ノ問題デゴザイマス

○濱口儀兵衛君 サウスルト今度カラ銅山ノ町村ノ大變樂ニナルト云フ理窟ナンデスカ

○政府委員(勝正憲君) 銅山ノ所在地ハ何ト申シマスカ幾ラカ儲ケモノヲスルト云フコトニナルカモ知レマセヌ

○内藤久寛君 只今議題ニナッテ居リマサル鑛業法中改正法律案ハ單純ナモノノヤウデアリマシテ、モウ別ニ御説明ヲ要スルモノモナイカト思ヒマスカラ、ソレヨリハ他ニ又御移リニナリマシテ鑛業獎勵法中改

正法律案ノ説明ヲシテ戴イテハドウデスカ

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 別ニ本法律案ニ付テハ只今ノ所御質問ゴザイマセヌカ、ソレデハ鑛業獎勵法中改正法律案ニ付キマシテ政府委員ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 依商工大臣ノ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(依孫一君) 鑛業獎勵法中改正法律案ノ大體ノコトハ本會議ニモ申述ベテ置キマシタガ、此獎勵法ハ大正十五年ニ全部改正ヲ致シタノデアリマシテ、大正十五年四月十日ヨリ施行セラレテ居ルノデアリマスガ、當時ノ改正ノ趣旨ハ、主トシテ此銑ト銅ノ一貫作業ヲ獎勵スルト云フ意味ニ於テ改正ノ趣旨トシタノデアリマシタガ、其當時ノ改正ハ一定能力以上ノ銑鐵業及製銅設備ノ製鐵事業ニ對シテハ土地收用法ヲ適用スルコトニ致シタノト、且ツ其事業ノ爲ニ必要ナル器具機械ヲ外國カラ購入スル場合ニ於テ輸入稅ヲ免除スルコトニ致シマシタト共ニ、附則第二項ニ於キマシテ、改正以前ノ法律デ以テ從來得テ居ッタ特典ハ、改正法施行後ニ於テモ五年間ハ尙ホ其特權ヲ受ケ得ルト云フコトニ致シテアルノデアリマス、又一定能力以上ノ設備ノ新設

又ハ増設スルノニ對シマシテハ、其設備完

成ノ年及其翌年カラ十五年間ハ、營業稅、營業收益稅、所得稅ノ如キ諸稅ヲ免除スルト云フ規定ガ又規定セラレテアルノデアリマス、其規定ヲ、附則第三項ニ依リマシテ其特典ヲ受ケテ居ルモノヲ免稅期間五箇年間ヲ延長シテ、尙ホ其特典ヲ五箇年間ハ受ケルコトニ致シテアルノデアリマス、從ヒマシテ附則第二項ニ依ッテ土地收用法ノ適用又ハ輸入稅ノ免除ト斯ウ云フ特典ヲ與ヘラレテ居ル期間ヲ五年間延長セラレタル所ノ製鐵事業ハ、丁度施行後最早本年ノ四月九日ガ五年ニ當リマスルガ故ニ、丁度本年ノ四月九日限りデ其特典ヲ將來ニ於テハ受ケル能ハザルコトニ相成ルノデアリマス、又營業收益稅及ビ所得稅ノ免除ニ付キマシテモ、矢張り期間満了ニ依ッテ段々其免稅ヲ受ケラレナイコトニ相成ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態デアリマスルノデ、最初五年前ニ現行鑛業獎勵法ヲ施行イタス際ニ、斯ウ云フ舊式ノ製鐵事業ニ對シテ斯ウ云フ特典ヲ五ヶ年間與ヘタト云フ意味ハ、云フ迄モナク其間ニ特典ヲ與ヘテ置イテ徐々ニ設備ノ改善、所謂銑鐵一貫作業ノ如キ段々經濟的ニ製鐵事業ヲ行フト云フ設備ノ改善ヲ致サシムルト云フ爲ニ五年間ノ特典ヲ與

ヘテ置イテ、其間ニ段々ニ古い設備ノ改善ヲサセルト云フ積リデアッタノデアリマスルケレドモ、其五箇年間ノ期間ハ歐洲大戰ノ後ヲ受ケテ、製鐵事業ハ至テ不況ノ狀態ニアリマスノデ、中々營業者側ニ於テ其設備ノ改善ト云ッタ如キハ爲シ能ハザル狀態デアリマシテ、申サバ不況ノ狀態デアリマシテ、今日漸ク其事業ノ繼續ヲ辛ウジテ爲シ得テ居ルト云フ有様デアルノデアリマス、ソレ故ニ此際其特權ヲ失フトカ……特典ヲ失フトカ或ハ稅ノ賦課ヲセラルルト云フタコトニナリマスルト、誠ニ其製鐵事業ハ打撃ヲ被ムル譯ニ相成ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態デアリマスルカラ、今暫ク製鐵事業ヲシテ、所謂何ト申シマスカ舊式ノ製鐵事業ト申シマスカ、製鐵業ノ古い設備ヲ、尙ホ合理的ニ經營セシムルトカ或ハ改造ヲセシムルトカ云フ爲ニハ、今暫ク此保護ノ期間ヲ延長シテ、製鐵業ノ改善ヲセシメタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、此期間ヲ五年延長シヤウ、斯ウ云フコトニ致シタイト云フ譯デアリマス、其保護ハ單ニ土地收用法ノ適用トカ輸入稅免除ト云フダケデナクシテ、更ニ營業收益稅、所得稅ト云フ風ナモノモ亦免除スルト云フ期間ヲ五年間延長スルト云フコトニ致シタイ、斯ウ云フノ

デアリマス、要スルニ現行製鐵獎勵法ノ附則ノ年限ガ最早ヤ滿了ニ相成リマスルガ爲ニ尙ホ暫ラクノ間其期間ヲ延長シテ製鐵業ノ保護ヲスルコトニ致シタイ、以テ斯業ノ改善ヲセシメタイ、斯ウ云フコトガ此改正案ノ趣旨デアリマス、意味ハ製鐵業ニ取テハ重大ナル意味デアリマスガ、法文ト致シマシテハ極ク簡單ナ法文デアアルノデアリマス、ドウゾ御審議ヲ盡サレテ御協賛ヲ與ヘラレルヤウニ希望イタシマス、尙ホ詳細ノコトハ御質問ノ上他ノ政府委員ヨリ御答ヘ致シマス、私ハ一寸相憎ニ輸出組合法工業組合法及産業ハ統制法ノ委員會ガ同時刻カラアリマスルカラ是デ御免蒙テ其委員會ニ出席サシテ戴キタイと思ヒマス

○内藤久寛君 少ニ御聞キ申シテ見タイノデスガ、只今大臣ノ御説明ニナツタ中ニ此古イ製鐵業者ノ爲ニ斯ウ云フ幾ラカノ保護的ノ事柄ヲ實行シタイト云フノハ是ハ今ノ製鐵所一般製鐵業ニ付テ大キク經營シテ居ラレル製鐵業ノ一般ノ基本トスル基因ニナツテ居ル製鐵所モ矢張り其恩澤ト云フカ、又其保護ヲ受ケルコトハ同ジモノデアリマセウト思ヒマスカラ、ソコハ其影響スル所ハアスコデハサウ云フモノハ澤山ハナイノデスカ

○政府委員(福田庸雄君) 御承知ノ通り製鐵所ハ營業稅、所得稅ノ關係ハゴザイマセヌ、只土地收用法及輸入稅免除ノ規定ニ付キマシテハ製鐵所モ此獎勵法ノ規定ニ均霑スルコトニナツテ居リマス、製鐵所其設備ヲ擴張改善イタシマス爲ニ機械類ヲ外國カラ輸入スル、サウ云フ場合ニ矢張り輸入稅ヲ免除セラレルコトニナリマス、相當製鐵所ニ於テモ此獎勵法ノ影響ヲ受ケテ居ルト、斯ウ云フ風ニ御諒知ヲ願ヒタイ、金額ニ付キマシテハ是ハ毎年ノ輸入ノコトデゴザイマスカラ、其時ニ違ヒマスケレドモ、矢張り相當輸入稅免除ノ特典ニ預ッテ居ル、金額ハ相當ノ額ニ上ッテ居ルト思ヒマス

○岡喜七郎君 此五箇年ヲ十箇年ニ改メラレルト云フ、五箇年延長サレルト云フノハ只モウ五年モ延バシテ置イテ保護ヲヤラウト云フダケノマア五年モ延バシタラ宜カラウト云フ位ナ理由ナンデスカ、何カ五年延バスニ付テノ根據デモアルノデアリマスカ、ソレカラ今一ツ伺ヒタイノハ現時不況ノ狀態ニアルカラ尙ホ年限ヲ延バスト斯ウ云フマア大體ノ今商工大臣ノ御説明ノヤウニ承ハリマシタガ、サウスルト各種御配付ノ表ニ依ッテ見ルト隨分澤山ノ工場ガアルヤウ

デアリマスガ、其工場デ比較的ニ優良ナル成績ヲ舉ゲテ居ルモノト、又極メテ不成績ナ會社モアルダラウト思フ、サウ云フモノニ付テ皆一様ニ同一ナル保護ヲ御加ヘニナル譯ニナツデマスカ、或ハ其成績如何ニ依ッテハ保護ヲセヌト云フヤウナ必要ハナイモノナノデスカ、詰リ一視同仁ニヤラレルベキ理由ノ何カソコニ理由ガアルノデアリマスカ、其二點ヲヨク分リマセヌガ、一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(福田庸雄君) 唯今ノ御尋ネノ第一ノ點デゴザイマスガ、此五年延長ト云フコトニ付テノ何カ根據ガアルカト云フ御尋ネノ點デゴザイマスガ、此五年ト申シマスノハ、唯今ノ獎勵法ノ附則ニ於テモ舊法ノ適用ノアル事業ニ付テ大正十五年カラ五ヶ年延長シタノデゴザイマスガ、併シ其五ヶ年ノ間ニ於テ先キ程大臣モチヨット御説明申上ゲマシタ通りニ、此五ヶ年間ニ相當ノ設備ニ改善ヲ加ヘテ事業ノ基礎ヲ確立スルコトガ出來ルデアラウト考ヘテ大正十五年カラ五ヶ年延バシタノデゴザイマスガ、丁度折惡シク十五年カラ今日マデ一般經濟界ノ不況ニ崇ラレマシテ、中々設備ノ改善擴張ト云フヤウナコトモ思ヒニ任セマセヌデ、今日民間ニ於ケル製鐵事業ノ大部分ハ

矢張り此新法ノ適用ニ依ル工場デナクシテ舊法ニ依テ保護サレテ居ル、詰リ此附則ニ依テ保護サレテ居ルト云フヤウナ工場ガ大多數ヲ占メテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、丁度此ノ不景氣ガ今日ノヤウニ最モ深刻化シマシタ時代ニ從來ノ特點ヲ奪ハレルト云フコトハ誠ニ重大ナ影響ヲ、サナキダニ不況ニ苦ンデ居ル事業ニ與ヘル恐レガアルノデアリマス、ソレデ此期間ヲモウ暫ラク延長シタイト、斯ウ云フ考ヘデ此改正ヲ企テマシタノデゴザイマス、ソレデ五箇年間ト云フ期間ノ根據ニ付テハ五箇年經テタナラバ必ズモウ大丈夫ニナル、ソレ程ノ理論的ノ根據ガアル譯デハゴザイマセヌ、兎ニ角茲數年ノ中ニハ色々事業ノ整理直シト云フヤウナコトモ十分ニ行ハレルヤウニ致シマシテ、サウシテ成ルベク此五箇年間位ノ期間内ニ於テ事業ノ基礎ヲ確立ヲ圖リ、又幾多改善スベキ諸點モゴザイマスガサウ云フ點ニ付キマシテモ成ルベク其改善ヲ作振シテ行キマシテ事業ノ基礎ヲ確立シテ、サウシテソレ以上ノ色々ノ特點保護ニ與カルト云フコトガナイヤウニ致シタイト云フ考ヘデゴザイマシテ、先ヅ五ヶ年位ト云フコトノ茲ニ一ツノ期間ヲ取りマシテ五ヶ年ト致シマシタノデアリマス、非常ニ論

理的ニ法文ヲ五ヶ年ヲナクテハナラヌ、或ハ五ヶ年經テタナラバ必ズ出來ルト云フ譯デハゴザイマセヌガ、先ヅ大體ノ今日ノ形勢其他カラ見マシテ、又製鐵事業ノ性質カラ見マシテモ、是ハ急ニ設備ノ改善擴張ト云フコトガ出來ルモノデハゴザイマセヌカラ、一應五箇年、斯ウ云フ風ニ致シタ意味デゴザイマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ此民間ノ會社ニハ色ミ儲ケテ居ル會社モアレバ損シテ居ル會社モアルノデアル、ソレデ此不況ヲ救済スルト云フ意味デアルナラ、其間ニ差別待遇ヲスルコトガ、詰リ善イモノハ保護ヲシナイ、惡イモノハ特ニ保護ヲシテアル、斯ウ云フ風ニシタ方ガ理論的デハナカラウカト云フヤウナ御尋ノヤウニ承リマシタノデアリマスガ、御手許ニ差上ゲマシタ表ニ依ッテ御覽ニナリマシテモ大體御分カリニナルト思ヒマスルガ、此優良ナル成績ヲ擧ゲテ居ルト云フ會社ハ殆ドゴザイマセヌ、大部分ハ無配當或ハ缺損ノ會社デゴザイマス、ソレデ此ウチ昭和四年頃マデ幾分、例ヘバ日本鋼管トカ大阪製鐵トカノ株ハ相當ノ配當ヲ受ケテ居ルヤウニ見エルノデゴザイマスガ、其日本鋼管ハ優先株ニ付テノミノ配當デゴザイマシテ、是モ此昭和五年度或ハ六年度ニ至ッテハ中々困難デ

アラウト云フヤウナ狀態ニ先ヅアルト思ヒマス、ソレカラ大阪製鐵會社ノ方ハ、是ハ非常ニ其資本ヲ切下ゲマシテ聊カ配當ガ出來ルヤウナ形ニナッテ居リマスガ、何レニシテモ矢張り他ノ製鐵會社ト同ジャウニ事業ヲ經營スルモノハ、此價格ノ下落其他ニ依ッテ非常ナ困難ニ陷ッテ居ル、ト云フコトハ事實デゴザイマス、ソレデ此不況ノ對策ト致シマシテ、ドノ會社ヲドウスルト云フコトモ難シイコトデゴザイマスカラ、一般ニ其從來ノ特典ヲ尙五箇年間與ヘテ置キタイト云フ考デゴザイマス、ソレカラ此五箇年間に期間ヲ延長スルト云フコトハ一ツノ此不況時代ノ切抜ケノ餘地ヲ各事業家ニ與ヘルト云フ精神ト同時ニ一ツニハ先程申上ゲマシタヤウニ、此不況時代ニ於キマシテモ色ミ設備ノ改善或ハ擴張ヲ試ミマシテ、日本ノ製鐵事業ノ基礎ノ確立ヲ圖リタイ、サウ云フ趣旨モアルノデゴザイマスカラ、サウ云フ意味カラ言ヒマシタナラバ、惡イ會社ハ、其營業成績ノ比較的惡イ會社モ善イ會社モ一樣ニ之ヲ保護シテ、成ルベク早く其組織ヲ更ニ合理化シテ行クト云フ必要ノアル點ニ於テハ同一デゴザイマス、何レニ致シマシテモ、大體ニ於テ此日本ノ製鐵會社ハ一般ノ此不況ニ非常ニ困難ヲ致シテ居ル、ソ

レカラ又此不況ハドウシテモ此儘デハ切抜ケラレヌ、其間ニ色ミナ設備ノ改善擴張或ハ經營方法、組織ノ改善ト云フコトガ必要ニナッテ來ルト思フノデゴザイマスカラ、サウ云フ意味カラ致シマシテモ暫ク從來通りノ保護ヲ續ケテ置キマシテ、其希望ヲ達成セシメタイト云フ、二ツノ其理由ニ出テ居ルノデゴザイマスカラ、別段ドノ會社ヲドウスルト云フヤウナコトデハナク、一般的ニ其特典ヲ與ヘテ置キタイト云フノガ今度ノ改正ノ趣旨デゴザイマス

○岡喜七郎君 新聞紙等デ散見シマシタトコロニ依ルト、何カ政府ニ於テハ此製鐵事業ヲナント言ヒマスルカ、統制スルト云フ意味デアリマスガ、合同シテ大規模ニシ、サウシテ所謂今日ノ損益ノ……損益デハアリマセヌ、益ノ上ガルヤウニシテ行クト云フヤウナ御計畫ト云フカ、御方針ガアルヤニ承ハタコトモゴザイマスガ、ドウ云フ昨今御方針ニナッテ居リマスガ、又將來ハ矢張り現在ノ儘デ置カレルト云フ御考ナノデゴザイマスガ、何カサウ云フ御詮議デモアツタモノカ、御差支ガナケレバ拜聽イタシテ見タイト思ヒマス

○政府委員(野田文一郎君) 只今ノ御尋ニ對シマシテハ私ヨリ御答申上ゲマス、製鐵

會社ノ合同即チ製鐵事業ノ統制ト云フコトニ付キマシテハ、商工省殊ニ合理局ヲ中心トシテ調査研究ヲ致シマシタ、其事ハ大要新聞ニ出テ居リマスカラ御承知ノコトト存ジマスガ、餘程調査モ進行ハ致シマシタガ何分御承知ノ通り大キナ仕事デゴザイマシテ、遂ニ此議會ニ提案ヲスルダケノ準備ガ揃ハナカッタノデアリマス、今後ヲドウスルカト云フゴトハ今言明ヲ申上ゲルコトハ困難デゴザイマスガ、矢張り從來ノ方針ニ從ッテ調査ヲ進メマシテ次ノ議會ニ或ハ提案デモスルコトニナリハシナイカト存ジマス、併ナガラ責任ヲ以テ今後ドウスルト云フコトヲ瞭キリ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、調査ノ結果多少方針ニ異動ヲ生ズルカモ存ジマセヌ、從ッテ今瞭キリシタコトハ申上兼ネマスケレドモ、製鐵事業ガ日本ノ重要産業デアッテ、之ニ統制ヲ加フル必要ノアルコトハ何人モ認メテ居リマスカラ、此製鐵事業ノ合理化ト云フコトニ付テハ引續キ努力イタス積リデ居リマス、唯從來如何ナル程度ニ此調査ガ出來タカト云フコトハ頗ル廣汎ナ事柄デモゴザイマスシ、チヨット此處デ申上ゲルコトハ甚ダ困難デゴザイマス

○岡喜七郎君 只今承リマシタ所ニ依リマスレバ、將來所謂製鐵事業ヲ統制ヲサレル

爲ニ其方針ヲ進マレルモノト御説明ノ言外ニ溢レテ居ルヤウニ想像イタスノデアリマスガ、斯ウ云フ事業、殊ニ政府ニ於テハ所謂産業合理化ト云フコトヲ大聲叱呼サレテ居ル場合ニ調査ヲ進行セナカッタ爲デアリマスカ、其御方針ヲ確立シテ議會ニ現レナカッタト云フコトハ甚ダ遺憾ニ考ヘマスガ、是非共御統制ノ意味ニ於テ尙ホ調査ヲ進行サレルノデアリマスカ、又今日迄ノ御調査デハ其案ヲ出サレルニマダ不足ノ、御調べガ不足ナ爲ニ此處ニ現レナカッタモノデアリマスカ、モウ一度承ッテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(野田文一郎君) チョット御尋ノ趣旨ガ私ニ徹底ヲ致サナカッタノデアリマスガ……

○岡喜七郎君 要スルニ御方針ハ斯カル事業ハ統制シテ改善ニ改善ヲ加ヘテ行キタイト云フ御趣意ノヤウニ拜聽スルノデアリマス、其御趣意ガ今日ニ現レナカッタノハ御調査ガマダ十分デナイト斯ウ云フコトカラ現レズニ居ルノデアリマスルカ、又將來尙ホ調査ヲ進メラレマシテ必ズ其御統制ニナル御趣意デアアルノデアリマスカ、御差支ナケレバソレヲ承ッテ置キタイ、斯ウ云フ趣旨ナンデアリマス

○政府委員(野田文一郎君) 調査不十分ト

申シテハ適切デナイト考ヘマスガ、御承知ノ通り關係ノ方面ガ頗ル廣汎ニ亘ッテ居リマスカラ、或ハ關稅ノ問題ニモ關係ヲ致シマセウ、或ハ其補助、助成金ト云フヤウナコトニモ關係ヲ致シマセウ、又關係ノ會社ノ同意、不同意ト云フヤウナコトニモ關係ヲ致シマスシ、必ズシモ調査不十分ノ結果トハ申上ゲ兼ネマスガ、是等ノ各方面ヲ綜合シテ之ヲ取纏メル程度ニ達シナカッタ、斯ウ云フコトニ申上ゲルノ外ハナイト思ヒマス、唯行詰ッタト申シマスカ、支障ヲ來シタ點ヲ、アスココ、ト云フコトヲ申上ゲルト云フコトハ、將來合理化ヲ進メテ參リマス上ニ於テ寧ろ害ガアテ利益ガナイコトデアラウカト存ジマスカラ、其點ヲ申上ゲルコトハ差控ヘタイト存ジマス、要スルニ總テノ關係事項ニ付テ纏マリガ附カナカッタト斯ウ云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、今後ハ如何ニスルカト申上ゲマシタガ、政府ハ製鐵事業ノ合理化、單リ製鐵事業ダケデナシニ總テノ産業ニ向ッテ合理化ヲ進メテ參ル積リデ居リマスカラ、矢張り産業合理化ノ根本方針ニ從ッテ努力イタス積リデゴザイマス、併シ如何ニスルガ合理化ノ根本精神ニ適フカト云フコトハ、是亦

困難ナ問題デアリマシテ、今迄ノ方針其儘ガ宜シイノカ、或ハ多少方針ヲ換ヘルコトガ合理化ヲ徹底スル所以デアルカ、斯ウ云フコトハ又更ニ研究ヲ要スルコトト存ジマスガ、要スルニ産業合理化ノ根本精神ニ適ヒマスルヤウニ最善ノ努力ヲ致ス積リデ居リマス、左様ニ申上ゲタイト存ジマス

○男爵周布兼道君 今回ノ製鐵業獎勵法中改正法律案ノ第三項ニ付キマシテ御伺ヒシタイノデスガ、十五年ノ期間ガ昭和十年迄ニ滿了スルモノニ在リテハ昭和十一年迄ニ之ヲ加ヘヤウ、斯ウ云フノデゴザイマスガ、サウシマス、第二項ノ五ヶ年ヲ延バシタ……延バサウト云フノト一致サセルコトニナルト思フノデアリマスガ、此一致ヲサセマス其理由ガ何處ニカアッタラウト思ヒマス、一應御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 此第二項ノ五箇年ヲ……丁度先ホド大臣カラ御説明申上ゲマシタ通りニ土地收用法ノ特權及輸入稅免除ノ特權ハ來月ノ九日デ切レマスノデ、一、律ニ總テノ……此舊法ノ適用ヲ受ケテ居、タ總テノ會社ガ、一律ニ昭和六年ノ四月九日デ其特權ヲ失フコトニナリマスカラ、皆五年先キニ一律ニ押延バスト斯ウ云フコトニナリマス、ソレカラ第三項ノ方ハ、營業

收益稅、所得稅ノ免除ハ、此獎勵法ニ掲ゲラレデアリマス通り詰リ其設備ガ出來テ開業シタ年及其開業ノ翌年カラ起算イタシマシテ十五箇年間此稅ヲ免除スルト、斯ウ云フヤウナ附則ノ書キ方ニナッテ居リマスノデ、各個ノ會社及其會社内部ニ於テモ、一部ノ……各部ノ設備ノ免除期間ノ起算點ガ違フノデ、ソレデソレヲ一樣ニ五箇年延バス、全部十五箇年ノ所ヲ五箇年延バスト云フコトニナリマス、又或ルモノニ付テハ相當長イ期間免除期間ガ延長ニナルト云フヤウナコトニナリマスノデ、丁度今御質問ノ通りニ第二項ト釣合ヲ取りマシテ差當リノ保護期間ノ延長ト致シマスレバ、先ヅ今後五箇年以内位ニ營業稅所得稅ノ免除ノ特典ヲ失フ設備ダケヲ昭和十一年マデ免稅ノ狀態ニ、詰リ從來ノ狀態ヲ持續サセルト云フ程度ニ止メテ置ク方ガ妥當デハナイカ、サウ云フ風ニ考ヘマシテ此括弧ニ入レタノデゴザイマス若シ之レヲ全部五箇年延バスト云フコトニ致シマスト實ハマダ舊法ノ適用ヲ受ケテ居ル會社ニモ今後十箇年或ハソレ以上モ免稅ノ特典ヲ受ケテ居ル設備ガゴザイマスノデ、ソレヲ今カラ尙ホ先キニ五箇年ヲ押延バスト云フコトノ必要ハアルマイ、取敢ヘズ今後五箇年位、免稅ノ特

典ヲ失フモノヲ失ハセヌヤウニシテ置カウ
ト云フ趣意ヲ以チマシテ、附則第二項ト
釣合ヲ先ヅ見テサウ云フ風ニナクタク云フ
コトニ御諒解下サツテ差支ナイコトと思ヒ
マス

○男爵周布兼道君 サウシマスト昭和十年迄ニ滿了スルモノダケガ十一年迄ニナツテ、起算點ニ依テハマダ先マデ此特典ガ續イテ居ルモノハ無論アルノデスカ

○政府委員(福田庸雄君) サウデゴザイマス

○男爵周布兼道君 ソコデサウナリマス
第二項ト第三項ハ現行法令ニ於キマシテハ大變ニ年數ガ違テ居リマス、コ、ニ何カ前ニ違テ居ル理由ガアッタノダラウト考ヘラレルノデスカ……、即チ例ヘバ此兩方ノ特典ヲデス、同時ニ期間ガ切レナイヤウニスルハ、一時ニ特典ヲ無クナシテシマフト云フヤウナコトヲシナイ爲ニ、斯ウ云フ風ナ期限ノ相違ガアッタノデヤナイカと思ハレル、果シテサウシマスルト、今度揃ヘルト云フコトハ其精神ヲ沒却スルヤウナ風ニモナリマスガ、其邊ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(福田庸雄君) 御手許ニ御配付申上ゲデアリマス現行獎勵法ノ附則デゴザ

昭和六年三月二十四日印刷

昭和六年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局

イマスガ、此前ノ第二項ノ方ハ五箇年デゴザイマシテ、ソレカラ第三項ノ方ハ十五箇年ト斯ウナツテ居リマスガ、此現行獎勵法ノ規定ニ於キマシテ、土地收用法ノ規定、ソレカラ輸入税免除ノ規定ヲ五箇年間延バシマシタノハ、從前ノ詰リ此現行獎勵法以前ノ舊製鐵業獎勵法ノ規則ガ、本法施行後十箇年間……本法施行ノ日カラ十箇年間ト斯ウ云フ風ニ書キ方ニナツテ居リマシテ、丁度大正十五年ノ四月ニ其期間ガ滿了スルコトニナツテ居タノデアリマス、ソレデソコニ五年ヲ附加ヘタト斯ウ云フ改正ニナツテ居リマス、其大正十五年ノ改正ハデス……、ソレカラ其營業税所得税ノ免除ハ、矢張り一定ノ資格條件ヲ備ヘテ居ル設備ガ事業ヲ開始イタシマシテカラ十箇年ト、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスノデ、ソレデ十箇年ト云フ期間ヲ十五箇年ト斯ウ變ヘタダケデゴザイマシテ、何レモ五箇年延長シタト云フコトニハ變リハナイノデゴザイマス、ソレデサウ云フ改正ノシ方ヤリマシタカラ、今度モ矢張り此輸入税ノ免除ノ方モ五箇年延バシマシテ、營業税……營業收益税ノ改正モ一律ニ五箇年延バシタラドウカト云フ御考モ御尤モダト思フノデゴザイマスガ、併シ先ホド申上ゲマシタヤウニ、マダ此從來

ノ附則ニ依リマシテ輸入税及營業收益税ノ免除ヲ受クル期間ガアトニ殘テ居ル、詰リ昭和十五年或ハ昭和二十年マデモ、マダ從來ノ附則ニ依リマシテ營業税及所得税ノ免除ヲ受ケル期間ガ殘テ居ル設備モアルノデゴザイマスカラ、サウ云フモノヲ尙ホ先キニ五箇年間押シ延バスト云フマデノ必要ハ此際アルマイ、ソレハソレトシテ兎ニ角此際最モ窮境ニ立ツ所ノ、詰リ是カラ五箇年以內位ノ、其特典ヲ失フヤウナ設備ヲ先ヅ保護シテ置イタナラバ宜イデヤナイカ、ソレカラ先キノ問題ニ付テハ其時ノ狀態ニ依ッテ、又適當ニ考ヘルト云フコトガ合理的デアラウト云フヤウナコトニナリマシテ、此第三項ノ規則ヲ設ケテ趣意デゴザイマス、稍、其處ニチグハダニナツテ居ル所モアリマスガ、先ヅ當面ノ救済ト云フ方カラ申シマスレバ、ソレノ方ガ合理的デヤナイカ、斯ウ云フ議論デアッタノデゴザイマス
○委員長(伯爵二荒芳徳君) 別ニ御質問ハゴザイマセヌデスカ……、如何デアリマセウ、若シ只今御質問ガナケレバ、暫ク政府委員ニ御退室ヲ願テ、御相談ヲ懇談のニ致シタイト思ヒマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(伯爵二荒芳徳君) ソレデハ本特

別委員會ハ是デ今日ハ終リト致シマス
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳徳君
副委員長 岡 喜七郎君
委員 侯爵大隈 信常君
子爵豐岡 圭資君
男爵周布 兼道君
岡田 文次君
内藤 久寛君
濱口儀兵衛君
高廣 次平君

國務大臣

商工大臣 依 孫一君

政府委員

大藏參與官 勝 正憲君
大藏書記官 野津高次郎君
商工參與官 野田文一郎君
商工省鑛山局長 福田 庸雄君
商工書記官 長崎榮十郎君